

各関係機関・団体の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成24年度 病害虫発生予察情報について（送付）

このことについて、下記のとおり発表しましたので送付します。

病害虫発生予察 注意報第4号

- 1 農作物名** カンキツ, ナシ, カキ
- 2 病害虫名** 果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ, ツヤアオカメムシ）
- 3 予報内容**
 - （1）発生地域 県本土・熊毛地域
 - （2）発生量 多
- 4 注意報発令の根拠**
 - （1）予察灯への誘殺数が8月から増加しており、出水市の予察灯では、チャバネアオカメムシが8月第5半旬に1,876頭（前年85頭, 平年122頭）、第6半旬に6,803頭（前年251頭, 平年171頭）、ツヤアオカメムシが8月第5半旬に56頭（前年32頭, 平年30頭）、第6半旬に173頭（前年30頭, 平年74頭）誘殺された。また、南さつま市加世田や薩摩川内市東郷町の予察灯でも、誘殺数が増加している（図1）。
 - （2）8月下旬のヒノキにおける寄生状況調査では、2種の成・幼虫の合計虫数が24.1頭/地点（うち、成虫20.7頭）であり、8月上旬の16.5頭/地点（うち、成虫13.7頭）に比べて寄生密度が増加している。また、前年の同時期に比べても寄生密度が高い（図2, 表1）。
 - （3）本年のヒノキの球果結実量は地域間差はあるが、全体的には中程度で前年より多い。
- 5 防除上注意すべき事項**
 - （1）カメムシ類の飛来は地域間差、ほ場間差があるので、園内外をよく見回り、飛来を認めたら直ちに防除する。収穫期を迎えている極早生温州やナシ園では特に注意する。
 - （2）山林（ヒノキ, スギ）に近い果樹園ほど飛来数が多くなる傾向があり、特に、防風樹としてヒノキを植栽している園地では注意する。
 - （3）飛来を認めた場合、一回目の防除は残効の長いネオニコチノイド系薬剤または合成ピレスロイド系薬剤を選択する。合成ピレスロイド系薬剤は、ハダニ類の発生を助長するので散布後の発生に注意する。また、散布後の園内の飛来状況を見極め、二回目以降の防除を実施する。
 - （4）薬剤のかかりの悪い場所へ集中的に飛来する可能性が高いため、薬液が樹全体にかかるように丁寧に散布する。
 - （5）防除に当たっては、農薬の使用基準を厳守し、薬剤の飛散に十分注意する。

(参考資料)

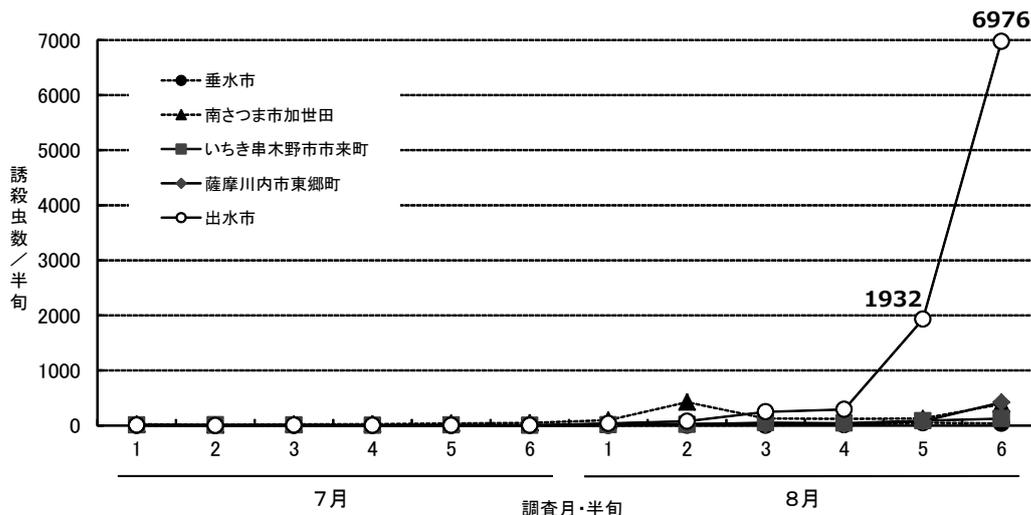


図1 予察灯におけるカメムシ類（2種計）の誘殺数（平成24年）

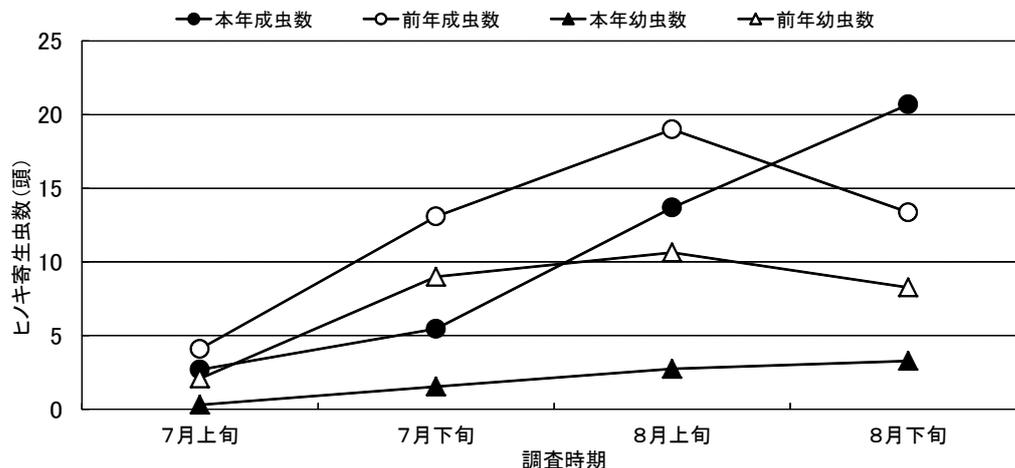


図2 ヒノキでのカメムシ類（2種計）の寄生状況推移

表1 ヒノキでのカメムシ類寄生状況

調査場所	平成24年度				平成23年度			
	7月上旬	7月下旬	8月上旬	8月下旬	7月上旬	7月下旬	8月上旬	8月下旬
いちき串木野市1	7(7) ²⁾	9(9) ²⁾	22(12) ²⁾	19(11) ²⁾	1(1) ²⁾	3(3) ²⁾	7(3) ²⁾	5(3) ²⁾
いちき串木野市2	5(5)	23(19)	41(34)	34(32)	9(9)	38(11)	43(30)	22(11)
薩摩川内市東郷町	1(0)	4(2)	0(0)	7(5)	2(2)	14(11)	18(11)	34(25)
さつま町	3(3)	6(4)	13(11)	19(15)	15(13)	48(39)	59(30)	53(40)
阿久根市	1(1)	6(3)	20(18)	16(13)	5(5)	22(9)	35(21)	27(23)
出水市高尾野町	0(0)	2(1)	7(6)	15(11)	—	—	—	—
出水市1	0(0)	2(1)	14(14)	40(36)	2(1)	18(17)	20(15)	10(7)
出水市2	1(1)	5(3)	20(16)	12(9)	—	—	—	—
出水市3	7(5)	3(2)	15(10)	33(32)	2(1)	39(25)	45(28)	25(19)
霧島市溝辺町	2(2)	0(0)	4(4)	10(10)	1(0)	2(0)	14(10)	16(6)
垂水市	1(1)	3(3)	20(18)	25(14)	11(5)	31(11)	62(49)	35(10)
南さつま市加世田	3(3)	13(12)	17(16)	72(71)	2(2)	11(9)	9(5)	8(3)
日置市吹上町	8(7)	15(12)	21(19)	11(10)	18(6)	17(9)	14(7)	3(0)
平均	3.0(2.7)	7.0(5.5)	16.5(13.7)	24.1(20.7)	6.2(4.1)	22.1(13.1)	29.6(19.0)	21.6(13.4)

注) 1. 調査日：平成24年6月29日～7月6日（上旬），7月13～20日（下旬），8月2～6日（上旬），8月17～23日（下旬）

平成23年7月1～8日（上旬），7月19～22日（下旬），8月2～4日（上旬），8月16～23日（下旬）

調査方法：1地点当たり10ヶ所を捕虫網で5～7回ずつ振るい落とした。

2. 数字はツヤアオカメムシとチャバネアオカメムシの合計値で，（ ）内は成虫数。